

フロンティア事業助成事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人場とつながりの研究センター	代表者名	理事長 長谷川 計二
事業名	「居場所」が持つ地域課題解決力の向上支援事業		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2013年11月 ～2014年1月	居場所運営の聞き取り調査 (5 団体) ①NPO 法人ふらっときすみの 11/19 ②ささやま遊び村 12/10 ③子育てサークルくるみ会 12/16 ④NPO 法人すまみらい 1/14 ⑤ゆりのき台県民交流ひろば 1/21
2013年12月14日	居場所コーディネーター育成講座 講 師： 永井美佳氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会)
2014年1月28日 ～2月18日	居場所研究会 (全4回) ①参加者が「主役」に慣れるサークル運営のコツ 1/28 ゲスト： 木下清恵氏 (子育てサークルくるみ会) ②地域住民が支えあう、コミュニティカフェの作り方 2/4 ゲスト： 梶本美智子氏 (カフェ狭間) ③まちの人がふらっとつながれる、ゆるやかな場作りのコツ ゲスト： 三井ハルコ氏 (つながりーいなカフェ/NPO 法人市民事務局かわにし) ④「私」が認められる居場所の、あたたかさと課題 ゲスト： 井上一休氏 (遊び村ささやま/NPO 法人結)
2014年3月15日	居場所シンポジウム 講 師： 田中俊英氏 (一般社団法人 office ドーナツトーク) ポスター発表： ①つながりーいなカフェ (猪名川) ②カフェ狭間 (三田) ③遊び村ささやま (篠山) ④子育てサークルくるみ会 (三木) ⑤ばそこんスペース宙 (三田) ⑥ゆうわ福祉会「あさがお」 (神戸市北区) ⑦ゆりのき台県民交流ひろば (三田) ⑧つどい場「お茶の実」 (篠山) ⑨三田マッキントッシュユーザーズグループ (三田) ⑩まごの手「ささえ愛たい」 (三田)

## 効果と成果

コミュニティカフェやおしゃべりサロンなど多様な形態の居場所があるが、家庭－職場・学校といった「役割」のある場所とは異なり、本人にとって役割を外せる「第三の場所」として意味を持つことに、共通項を見いだすことができた。居場所が機能するためには、利用者をお客様化させずスタッフともども小さな役割があるなどのファシリテーションの工夫と場のマネジメントを意識することが重要である。

担い手は特定スタッフの兼務状態が多く、地域ニーズを汲み取るコーディネーターの役割を担えるスタッフが特に不足している。

それぞれの居場所が独自のアイデアで多様な展開をしており、ノウハウを持ち寄るネットワークを作ることだけでも、お互いをエンパワメントできる可能性があることがわかった。

## 収支決算書

### (収 入)

項 目	金額 (円)
フロンティア事業助成金	800,000
参加費収入	42,500
自己負担	273,017
合 計	1,115,517

### (支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	307,500	189,185
	謝金	304,603	304,603
	旅費交通費	40,660	40,160
	会議費	17,150	17,150
	印刷製本費	12,120	12,120
	通信費	6,880	6,880
	消耗品費	3,742	3,742
	小計	692,655	573,840
	間接経費 (一般管理費)	422,862	227,575
	合 計	1,115,517	801,415